

**「高校生のための学びの基礎診断」認定された測定ツール  
(基本情報)**

事業者名	公益財団法人 日本数学検定協会					
測定ツール名	数検スコア総合診断 数I・数A					
主な対象者	数学I及び数学Aをすべて学習し終えた者					
対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
		○				○
測定ツールの目的・概要	<p>数検スコア総合診断は、数学Iと数学Aを中心に義務教育段階の数学を含めて、学習項目ごとの理解度を測定。測定する資質・能力は、数学Iの「数と式」、「図形と計量」、「二次関数」、「データの分析」と、数学Aの「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」と義務教育段階の数学の「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」。</p> <p>実施方法は、CBT方式で実施し、インターネット環境を利用してパソコンやタブレットから、いつでも、どこでも、実施することができる。</p> <p>診断実施前に先生から「クラスの目標値」と「学習項目別の授業重点度」をヒアリングし、生徒の診断結果集計に反映させる。反映された診断結果は、先生の授業に直結した結果となるため、授業改善や授業重点度の見直しなど、授業のPDCAサイクルを回す指標として利活用できる。さらに、個人の診断結果を利用して先生は生徒単位の「面談指導」の資料としても活用できる。</p> <p>CBT方式の実施において、個人の情報を登録せずに「個人情報を持たない」IDとパスワードを利用することで、情報漏洩などを未然に防ぐ。</p> <p>診断の申し込みから、診断実施、結果の返却、万が一のシステムトラブルについて万全のサポート体制を構築している。受け付け窓口は、平日9時から18時まで、電話・メールによるサポート。※土日祝については緊急連絡先を用意。</p>					
測定ツールの特長・活用例等	<p>数検スコア総合診断の特長</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 診断実施における先生の業務負担を最小限まで抑え、簡単に利用できる診断。CBT方式で実施するので、いつでも、どこでも実施でき、試験資材の配付・回収などの手間は一切ない。</li> <li>2. 診断結果を利用して、授業の計画や授業改善など、PDCAを回すための指標として活用することができる。先生が事前に設定する目標値、授業重点度における到達度合と理解度、復習すべき項目と復習レベルについてクラス全体が可視化されるため、授業計画や改善のPDCAを回すための資料として利活用できる。</li> <li>3. 診断結果を個人面談などの面談資料として利用できる。先生が目標値を設定し、授業重点度に対する理解度も可視化されるため、生徒の不得意分野と合わせて、個人面談の資料として利用することができる。</li> </ol> <p>活用例</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 数検スコア総合診断の目標値、授業重点度を設定して授業改善、見直しのPDCAサイクルの指標として活用。</li> <li>2. 数検スコア総合診断を学内で実施していた中間テストや期末テストの補助として活用。</li> <li>3. 診断結果を生徒との個人面談の資料の一部として利用。</li> </ol>					
実施期間、年間実施回数	2018年9月から申込・実施を開始予定 通年で実施しており、実施時期は先生が任意で決めることができる。					
実施方式 (CBT/PBT)	CBT					
試験時間(分)	国語	数学	英語			
		60分				
受検料	3,456円(税込)/回					
標準返却期間	7営業日程度					
URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	<a href="http://suken-score.tank.jp/">http://suken-score.tank.jp/</a>					

指摘事項	出題に関すること	1	件
	結果提供に関すること	1	件
	運営その他に関すること	2	件